

米国環境保護庁 ワシントンD.C.20460

大気放射局

2008年2月22日

ENERGY STAR®コンピューターパートナーあるいはその他関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）およびEC（欧州委員会）は、付属のENERGY STARコンピュータ基準バージョン5.0の**第1草案**に対する意見を歓迎する。EPAの段階的基準に関する過去の改版慣習と一致させるため、基準を第2段階からバージョン5.0に変更したことに留意してほしい。本基準が確定されると、現行のバージョン4.0基準に取って替わる予定である。本基準の発効予定日は2009年7月1日である。

EPAは、2007年12月6日のオンライン関係者会議において、あるいはその後の書面による意見を通じて、第2段階基準コンピュータ検討指針に関する意見を提出したすべての関係者に感謝している。これらの意見は、この第1草案の作成において慎重に検討かつ考慮された。

バージョン5.0基準の第1草案には、デスクトップ、一体型コンピュータ、ノートブックおよびタブレットPCの製品区分を評価する、エネルギー効率性能評価方法（EEPA: Energy Efficiency Performance Assessment approach）が組込まれている。この方法において、コンピュータは、実際のアプリケーションや演算タスクに基づく合意「作業負荷」を実行し、消費エネルギーを性能に変換する際の有効性を測定される。Ecma InternationalのTC38-TG2作業グループによって策定されているエネルギーベンチマーク規格指針のもとに策定されたソフトウェアツールであるEEcoMarkを、BAPCo（Business Applications Performance Corporation）が開発していることから、EPAはBAPCoと緊密に協力している。BAPCoおよびEcma作業グループの両方とも、コンピュータ業界からの代表で構成されている。EPAとEC技術班も、この取組みの積極的な参加者である。EEcoMarkは、OSがWindowsまたはMacであるコンピュータにおける使用に向けて、2008年6月に完成する予定である。このツールがEPAおよびECによるバージョン5.0に基づく使用の要件を満たす場合、EPA および ECは、使用可能になり次第すぐに、完成したそのツールを用いたデータ収集を開始するつもりである。

第1草案は、EEPAツールによる測定値および計算式を含め、それら数値に基づいて推定年間エネルギー消費量を算出するためのEEPA方法の構成を提示している。適合基準値はまだ未定である。EPAは、EEcoMarkが使用可能となる6月より前にバージョン5.0基準における定義や構成要素の精度を向上させて、今夏は、試験、データ収集および適合基準値の策定に重点的に取り組む予定である。

上記の評価方法に加えて、バージョン5.0基準の第1草案には、次の重要な要素が組込まれている。EPAが反映された変更を提案する論理的根拠を明確にするために、草案中に注記枠が含まれている。

- ENERGY STARコンピュータサーバ基準策定と整合させるため、デスクトップ型サーバの定義を更新した。EPAとECは、第2草案の公表に先立ってこの製品区分に関するデータ収集を開始する予定である。
- ENERGY STARコンピュータ基準に、新たな製品区分としてシンクライアントを含めた。第1草案は、基準値未定のまま、バージョン4.0のデスクトップ用のものと類似する動作モード評価システムを提案する。シンクライアントは、第1草案においてデスクトップおよびノートブックとは別に評価されており、EEPA方法を使用せずに評価される。EPAおよびECは、第2草案の公表に先立ってこの製品区分に関するデータ収集を開始する予定である。

- 最新の電源装置効率要件バージョン5.0における外部電源装置(EPS)は、ENERGY STAR EPSバージョン2.0要件（現在、最終草案段階であり、今年11月に確定される予定）に合わせて設定されている。内部電源装置要件は、the Climate Savers Computing Initiative（業界による構成要素の効率改善の取組み）における電源装置効率要件と一致させるという関係者の意見に応じて調整された。
- 付随する作業負荷がワークステーションに適切であると思われる、ワークステーションを評価するためのベンチマーク方法を策定および使用するために、the Standard Performance Evaluation Corporation (SPEC) と協力して取り組む意向を示した。
- ゲーム機をコンピュータ基準内の独立製品区分として切り離した。基準値と試験方法は未定であるが、EPAは、ゲーム機特有の使用パターン、能力および市況に適切な要件を策定するために、ゲーム機の製造事業者と協力して取り組んでいる。
- バージョン4.0基準において提案されている電力管理要件の「第2段階」となる電力管理要件案を含めた。この要件案には、Energy Efficient Ethernetおよびスリープモードにおける完全なネットワーク機能維持が含まれる。
- 関係者との協議や本基準に含める可能性のため、この製品区分に関するその他のエネルギーや安全性への影響についてEPAが検討を開始することを注記した。

関係者は、第1草案を検討し、**2008年3月14日までに**、米国EPAのKatharine Kaplan

(kaplan.katharine@epa.gov) およびICF InternationalのEvan Haines (ehaines@icfi.com) 宛に、文書にて意見を提出するように求められる。意見提出者が提出した意見の非公開を具体的に要求しない限り、受け付けられたすべての意見は、ENERGY STAR基準改定ウェブサイトに掲載される。**EPAは、バージョン5.0の第1草案について協議するために、2008年3月31日～4月4日の週に、第2回オンライン関係者会議を開催する予定である。**会議事項を含め、会議の詳細内容は、今後数週間のあいだに関係者に向けて配布される。

この第1草案と、検討指針に関する関係者の意見は、ENERGY STARコンピュータ基準改定ウェブサイト (http://www.energystar.gov/index.cfm?c=revisions.computer_spec) に掲載されている。本基準策定作業への参加に感謝する。第1草案に対する貴重な意見を期待している。質問あるいは懸念については、EPAのKatharine Kaplan ((202)343-9120あるいは上記のメールアドレス参照) に問い合わせしてほしい。

Best Regards,

Katharine Kaplan, U.S. EPA
ENERGY STAR for Office Equipment

付属書類：

- ENERGY STARコンピュータ基準バージョン5.0の第1草案